

○「担い手のリタイアへの対応状況を確認」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成31年度第5回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

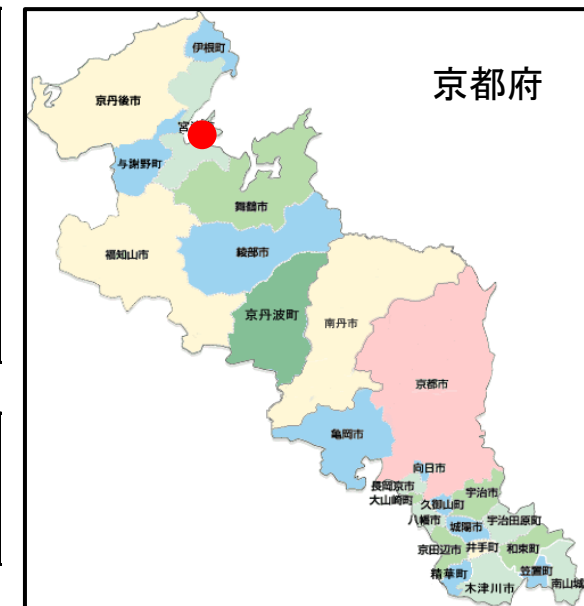
- 日時(時期): 令和2年2月4日(火) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 委員2人、推進委員1人、協力員4人
農業者2人、事務局1人、農業会議本局1人
※委員3人、委員以外8人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がいない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 中核農家の離農による対策協議 (2回目)
 - ・農地10ha、ハウス10棟 → ハウス3棟は親族が営農継承予定。水田は継承不能
 - ・図面により耕作地を確認。範囲が広く、耕作地を確認する
 - 小寺集落: 委員が耕作者の依頼を実施中
 - 中津集落: 2/7農会総会で状況説明と耕作者要請を予定
 - 他集落: 集会等で状況報告や耕作依頼をすることに。
- 今後の予定 耕作者が決まらない場合は保全管理に。話し合いを継続する必要



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援